

## ZENB、「Japan Branding Awards 2025」にて「SILVER」を受賞 「ブランドは事業そのもの」を体現する、未来の食生活提案が評価

株式会社 ZENB JAPAN(ゼンブ ジャパン)(愛知県半田市、以下 ZENB)は、日本初のブランディングを評価する賞「Japan Branding Awards 2025」(主催:株式会社インターブランドジャパン)において、「SILVER」を受賞しました。

「Japan Branding Awards」は、優れたブランディングを実行している企業・事業・サービスを評価・表彰するアワードです。2018年の創設以来、ブランド戦略と事業活動の一貫性や社会的価値創出の観点から選定が行われており、2024年からは、先行きが見えにくい時代における“ブランディングのあるべき姿”を問う評価基準へとアップデートされています。



### 受賞背景

ZENBは、「『食べる』のぜんぶを、あたらしく。」というブランドコンセプトのもと、植物を可能な限り“まるごと”使う食のあり方を提案してきました。野菜や豆をはじめとする植物を可能な限りまるごと活かし、動物性原料に頼らず、素材本来のおいしさと栄養を引き出す商品開発を継続。主食・副菜・間食にまで広がる商品ポートフォリオと、通販を軸にしながらもポップアップ店舗や体験型の場を通じて、ブランド思想を生活者が“実感できる”体験として届けてきました。

また、ZENBでは「ブランディングは特別な活動ではなく、事業運営そのもの」という考え方を軸に、R&D、マーケティング、セールス、バックオフィスに至るまで、日々の業務一つひとつがブランド戦略の具現化につながる組織運営を実践しています。こうした一貫した姿勢と実行力が、「ブランドは事業そのもの」であることを体現する好例として高く評価され、今回の受賞に至りました。



## 審査員からの評価コメント

2019年に事業立ち上げ以降、ZENBブランドの定義、その実態としての商品開発と事業商品ポートフォリオの拡充、ブランド体験の場の提供、組織運営に至るまで、すべてがブランドコンセプトの考え方のもとに展開されており、まさに「ブランドは事業そのもの」であることを実践・証明して成果につなげている好例と言えよう。また、ミツカングループという基盤のもと、地球への課題に向き合い、新しい価値の創出と拡大に成功しているケースとして、多くの日本企業の学びになるものと思われる。

## 株式会社 ZENB JAPAN 代表取締役社長 濱名誠久のコメント

このたびの受賞は、ZENBが掲げてきた「おいしさとサステナビリティの両立」という想いと実践が評価された結果だと光栄に受け止めています。ZENBというブランドは、チームの仲間の日々の挑戦と、支えていただいたお客さまと一緒に作り上げてきた成果です。これからも、お客さまとチームの仲間とともに、植物を“まるごと”活かした新しい食の価値を提案し、食の楽しさと健康、そして地球環境の未来に、より一層貢献していけるブランドを目指してまいります。



## ZENB とは

野菜や豆といった植物を可能な限りまるごと“ぜんぶ”使った食で、おいしくてカラダにいい、人と社会と地球の健康に貢献する、ウェルビーイングな食生活を提案しています。動物性原料不使用で、可能な限り添加物も使用せず、素材そのもののおいしさと栄養を余すことなく活かしています。小麦や米よりもヘルシーで地球にもやさしい黄えんどう豆を使った「ZENBヌードル」「ZENBブレッド」「ZENBチップス」や、普段食べずに捨ててしまう芯や皮まで、まるごと野菜を使った「ZENBカレー」「ZENBスープ」「ZENBバトン」などを販売しています。

# ZENB

「食べる」のぜんぶを、あたらしく。

- ・公式サイト : <https://zenb.jp>
- ・Instagram : [https://www.instagram.com/zenb\\_japan/](https://www.instagram.com/zenb_japan/)
- ・X : [https://x.com/Zenb\\_jp](https://x.com/Zenb_jp)

### <本件に関するお問い合わせ先>

お問い合わせフォーム: <https://support.zenb.jp/hc/ja/requests/new>